

ころばん体操出前講座活動報告(平成29年5月26日)

【講話】

- 1.「いつまでも自宅で暮らすために」地域包括支援センター保健師 久保小百合
- 2.「がんばりすぎない介護を応援します」
在宅医療・介護連携推進事業コーディネーター 南新敦子

参加者の声

平成29年5月8日(月)上石野公民館(参加者8名)

「これからの介護の事とか、まだ実感が湧かないもんなあ...」
「やっぱりポックリ死んでいけたらいい。」「じっくりは嫌だなあ」
出来ることなら、”ピンピンころり“がいいですよ。
普段から足が悪いので、車椅子が必要になるのが早くくるのかな、と思っています。
今の所、心配なことはありませんが、困った時には相談したいと思います。
現在妻が入院中です。今日話を聞いて、自分の状況にあてはまっていて実感しながら聞いていました。

(比較的元気な方が多い印象の公民館でした。
「まだまだ実感がなく、これから考えて行かないといけないよね」と、講話終了後話されていました。)

平成29年5月11日(木)佐保井公民館(参加者13名)

「もう、介護の事を考えんといかんのかなあ...」「そんな年になったのかねえ」
認知症にはなりたくないです。...なったらどうすればいいのか、心配ですよね...
介護保険を今まで支払ってきているけど、自分たちにどのように役立っていくのか分からない。
介護のサービスを受けるために届けをしなといけないと聞いているが、どこにいけばいいの
かも分からない。
介護の申請をしてからどのくらいの期間で利用できるのか知りたい。福祉用具とか、改修とか教えてほしい。
夫が今までも介護サービスを使っています。現在入院中ですが、今後も利用すると思います。

(介護保険や申請についての質問を積極的にしていただき、可能な範囲で対応させていただきました。
今まで必要とっていなかったが、家族や周囲で利用が必要になったりと、急な対応に戸惑うなどいろんな意見を聞かせて頂きました。とても貴重な機会となり、今後の参考にしていきたいと思いました。)



(上石野公民館)



(佐保井公民館)